

企業景況調査報告書

(平成28年1~3月期)

< 目次 >

調査の概要・結果概要 1
質問2 (直面している経営上の問題点) 2
質問3 (採用状況について) 3
質問4 (意見等自由記載欄) 4
DI集計結果・分布 5~7
調査票様式 8

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email cci3103@kurayoshi-cci.or.jp

倉吉商工会議所企業景況調査報告書(平成28年1～3月)

調査対象企業	倉吉市内の商工会議所会員企業 100 社 (建設業 23 社、製造業 19 社、卸売業 11 社、小売業 21 社、サービス業 20 社、その他 6 社)
調査方法	各事業所宛てに FAX にて調査票を送付し、FAX にて返信依頼。必要に応じて訪問回収。
調査時期	平成 28 年 3 月上旬～平成 28 年 3 月中旬
回収状況	70 社(回収率70%) ※前回(10～12月)75 社

<今期の状況>

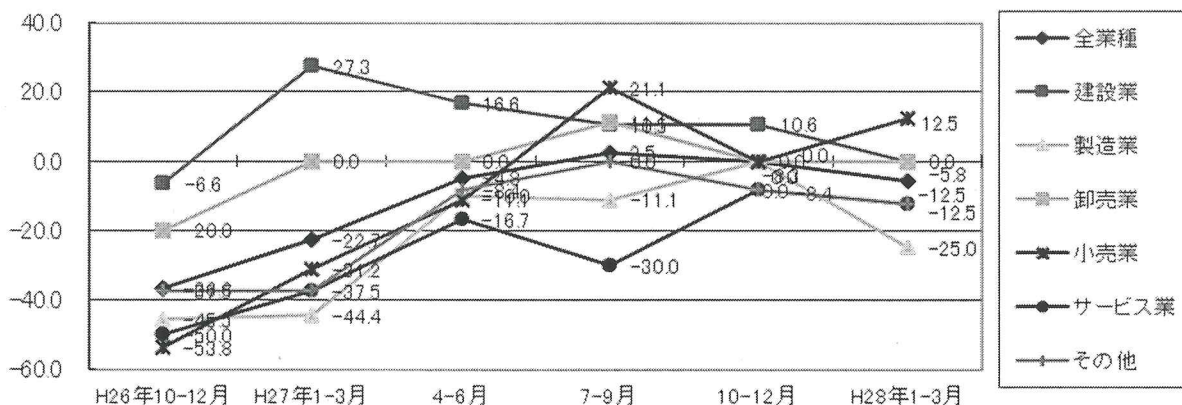
今期の全業種の業況 DI は、前年同期比で前期の 0.0 ポイントから 5.8 ポイント減少し、▲5.8 ポイントとなった。業種別に見ると、上昇したのは小売業のみで 0.0 ポイントから 12.5 ポイント上昇し 12.5 ポイントとなった。また、卸売業は前期同様 0.0 ポイントであった。一方、建設業は 10.6 ポイントから 10.6 ポイント下降し 0.0 ポイント、サービス業は▲8.3 ポイントから 4.2 ポイント下降し▲12.5 ポイント、その他は▲8.4 ポイントから 4.1 ポイント下降し▲12.5 ポイントであった。そして特に下降が目立ったのは製造業で、0.0 ポイントから 25.0 ポイント下降し▲25.0 ポイントであった。

<来期の見通し>

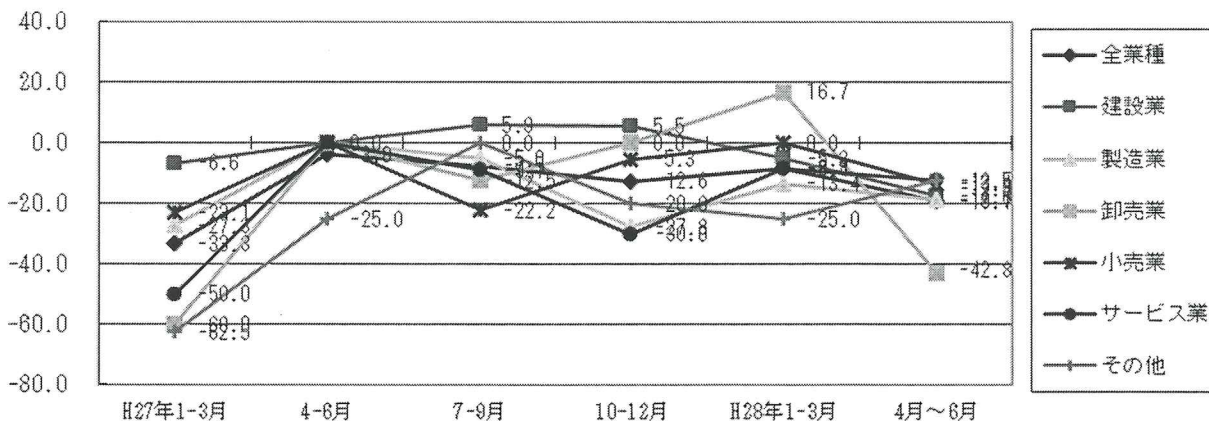
来期の見通し(平成 28 年 4～6 月)では、全業種の業況 DI は▲19.1 ポイントと、前期予測(▲8.3 ポイント)から下降傾向の見通しとなった。業種別に見ると、その他の業種が▲12.5 ポイント(前期予測▲25.0 ポイント)と上昇したものの、建設業では▲17.6 ポイント(前期予測▲5.2 ポイント)、製造業では▲18.7 ポイント(前期予測▲13.4 ポイント)、卸売業では▲42.8 ポイント(前期予測 16.7 ポイント)、小売業では▲13.4 ポイント(前期予測 0.0 ポイント)、サービス業では▲12.5 ポイント(前期予測▲8.4 ポイント)と、大半の業種で下降する見通しとなった。

<業況判断 DI の推移> ※今期の DI 値集計結果については P5 をご参照下さい。

(1) 今期の状況 <業種別>



(2) 来期の見通し<業種別>



※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がり意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

質問2 直面している経営上の問題点(上位3点を回答)

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出
 17 その他:具体的に()

[上位項目]

※()内は件数

分類		1位	2位	3位
全業種	当期	売上・受注減少(31)	競争激化(30)	利益率低下(23)
	前期	競争激化(29) 売上・受注減少(29)	利益率低下(25)	原材料・仕入価格上昇(16)
建設業	当期	経費の増加(8)	競争激化(6)、売上・受注単価低下(6) 原材料・仕入価格上昇(6)、利益率低下(6)	
	前期	売上・受注減少(7) 売上・受注単価低下(7) 原材料・仕入価格上昇(7)	競争激化(6)	人手不足(5) 利益率低下(5)
製造業	当期	消費・需要の停滞(8)	売上・受注減少(7) 利益率低下(7)	競争激化(6)
	前期	売上・受注減少(7)	競争激化(5) 消費・需要の停滞(5) 利益率低下(5)	原材料・仕入価格上昇(4) 経費の増加(4) 新分野進出(4)
卸売業	当期	競争激化(4) 売上・受注減少(4)	消費・需要の停滞(2)	売上・受注単価低下(2) 利益率低下(2)
	前期	消費・需要の停滞(4) 売上・受注減少(4)	競争激化(3)、利益率低下(3)	
小売業	当期	売上・受注減少(9)	競争激化(8)	消費・需要の停滞(6)
	前期	競争激化(10)	消費・需要の停滞(7)	利益率低下(4)
サービス業	当期	競争激化(4) 売上・受注減少(4) 利益率低下(4)	経費の増加(3)	消費・需要の停滞(2) 店舗・生産設備不足・老朽化(2) 人手不足(2)
	前期	利益率低下(8)	売上・受注減少(6)	競争激化(4)
その他	当期	競争激化(2)、消費・需要の停滞(2)、売上・受注減少(2) 店舗・生産設備不足・老朽化(2)		
	前期	人手不足(3)	消費・需要の停滞(2)、売上・受注減少(2) 店舗・生産設備不足・老朽化(2)、新分野進出(2)	

17.その他の課題

※社員の世代交代(小売業)

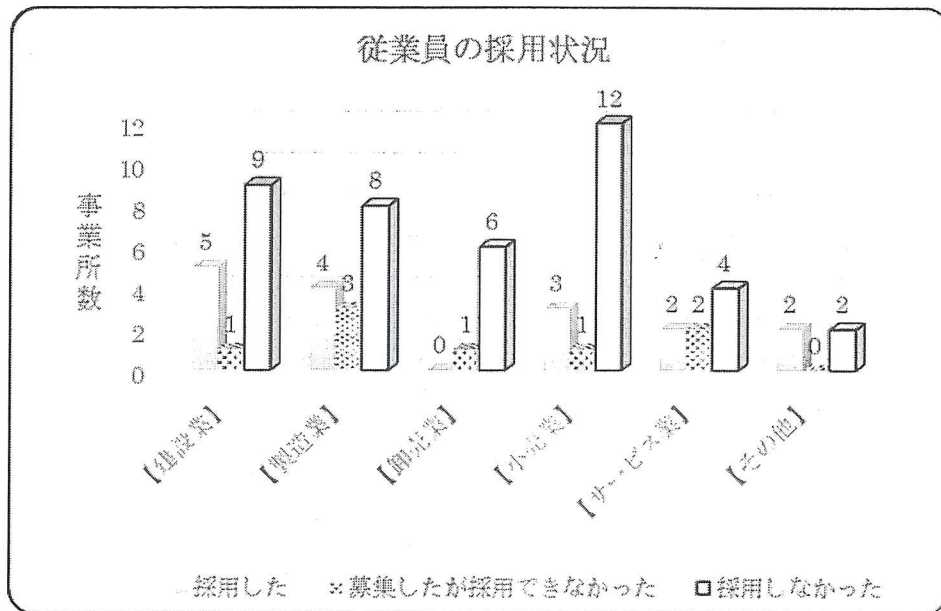
※若年技術者の不足(サービス業)

質問3 新卒者・既卒者の28年（4月時点）採用状況および採用予定

➤ 4月時点での採用状況

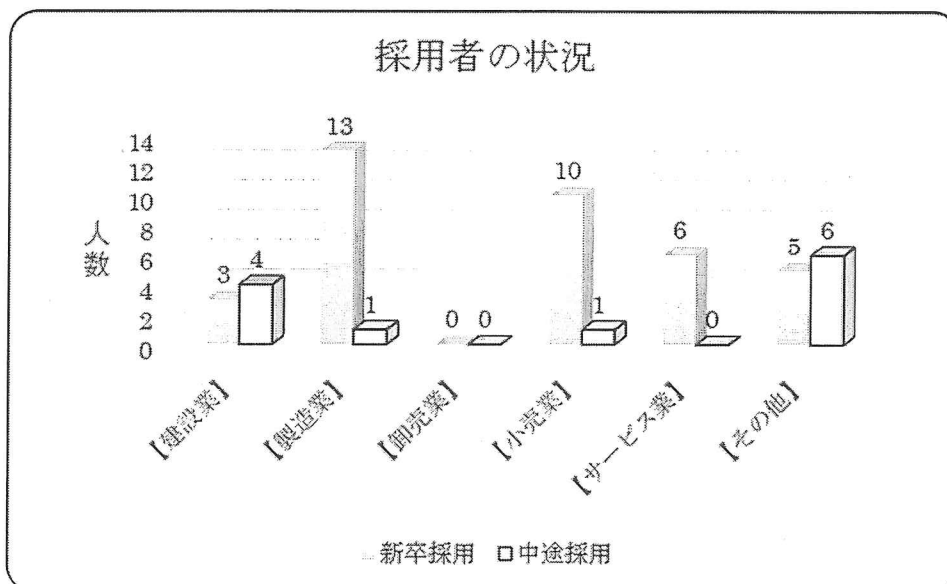
「計画した人数どおりに採用できた」「採用できたが、計画した人数には満たなかった」企業は25%、「募集をしたが採用できなかった」企業が12%であった。

一方、「今年度は採用を実施しなかった」企業が63%あり、質問2、その他の課題の回答にも見られるように、世代交代を望みながらも、採用に踏み切れない企業があることも垣間見えた。



➤ 4月時点での採用者数

製造業・小売業において新卒者採用の割合が高く、長期的な観点で人材を育成しようとする動きが見られた。また、建設業・その他の業種においては、中途採用者の割合が高く、今後の受注に併せて即戦力を確保し、自社の事業展開に備えようという動きが目立った。



質問4 現在の景況感、企業経営上の問題点等について(要望・意見等自由記入)

【建設業】

- ・利息の負担の軽減があれば、と思う。
- ・下請単価が低下(元請の取り過ぎ)している。
- ・3月までの工事はあるが、経済の先行きが分からないので、計画が立てにくい。
- ・公共工事の発注が減っている。個人消費が低迷している。
- ・受注低下、単価低下が激しい。
- ・公共建築の市発注が多く、良好だった。また、軽油などの燃料の価格が下がったため、特に運送部門の収益が好転した。しかし28年度は公共工事の減少、民間景況の低迷が予想され、厳しい状況にある。

【製造業】

- ・得意先が為替に左右される可能性が大である。
- ・今期～来期において受注量はほぼ横ばいと思われるが、近年売上単価の低下により、利益が出にくい状況にある。
- ・リーマンショック時のように急激にはではないが、徐々に受注状況が悪化しているような気がする。
- ・来年4月の消費増税による売上の落込み、さらに2020年の固有記号の廃止には危機感をもっている。
- ・1・2月とも売上高が前年より減少した。景気の回復を願うのみである。

【卸売業】

- ・需要が低迷しており、単価も下落している。消費税増税の駆け込み需要に期待する。
- ・中国の鋼材(ピレット)の増産が止まらないため、鉄自体の価値が低下(従来の半値)し、業界は冬の時代に入ったままである。
- ・何となく売上が伸びています。やはり、まじめにこつこつと仕事をしているからだと思う。

【小売業】

- ・ネット通販との差別化が必要。
- ・客数の減少と売上単価の低下が著しく、地域の衰退が深刻である。
- ・有能営業社員の採用が必要である。
- ・売上単価は上がっているが、来客数が減っている。売上は確保できているが、インターネットや他店の値下げにより、利益の確保が難しい。

【サービス業】

- ・円安によって原材料が上昇し、利益が低下して苦しい経営が続いている。大企業中心の税制の見直しが必要。サービス業の助成が少ない。一次産業は手厚い。
- ・同じ鳥取県でも米子市・鳥取市の消費の動きは不変のようだが、倉吉市はどんどん沈下していくような感じがする。生活がやっと、という感が伝わってくる。家族でディズニーも以前は多かったが、今はちらほらである。
- ・現在あまりにも売上げが伸びないので、採用できなかった。高齢労働者と若年労働者の切替えをしなければならないと思っている。しかし、公共事業の予算は減ってきているので、売上げ等の状況を見て採用したいと思う。現在の政府の経済政策は緊縮財政なので、建設関係の景気はよくなるかと思っていない。

【その他】

- ・消費の停滞と人手不足。

D I 集 計(前年同期比=H27年1~3月期、来期の見通し=H28年4~6月)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-17.2	-29.8	-5.8	-14.9	-18.8	-27.3
製造業	-29.4	-25.0	-5.9	0.0	-23.5	-23.5
非製造業	-13.2	-31.4	-5.8	-20.0	-17.3	-28.6

	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-8.7	-14.9	3.0	-3.0	-14.5	-6.1
製造業	-5.9	-5.9	5.9	5.9	-5.9	0.0
非製造業	-9.6	-18.0	2.0	-6.2	-17.3	-8.2

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-5.8	-19.1
製造業	-25.0	-18.7
非製造業	0.0	-19.2

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 資金繰り	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-17.2	-29.8	-5.8	-14.9	-18.8	-27.3
建設業	-17.6	-50.0	-17.6	-12.5	-11.7	-18.7
製造業	-29.4	-25.0	-5.9	0.0	-23.5	-23.5
卸売業	-42.8	-57.1	-14.3	-14.3	-28.6	-42.9
小売業	-6.3	-13.4	0.0	-40.0	-6.3	-21.5
サービス業	0.0	0.0	0.0	-12.5	-25.0	-37.5
その他	0.0	-40.0	25.0	0.0	-50.0	-50.0
非製造業	-13.2	-31.4	-5.8	-20.0	-17.3	-28.6

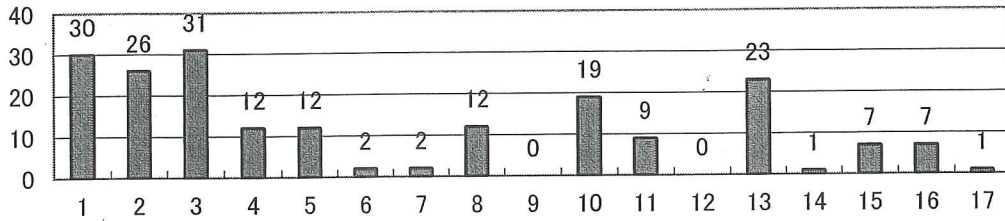
	4. 借入難度		5. 収益状況		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	-8.7	-14.9	3.0	-3.0	-14.5	-6.1
建設業	-5.9	-18.8	5.9	0.0	-12.5	12.5
製造業	-5.9	-5.9	5.9	5.9	-5.9	0.0
卸売業	-42.9	-42.9	40.0	40.0	0.0	-14.3
小売業	12.5	6.6	-6.2	-6.7	-25.0	-23.1
サービス業	-28.6	-28.6	-12.5	-28.6	-37.5	-37.5
その他	-20.0	-40.0	0.0	-40.0	0.0	12.5
非製造業	-9.6	-18.0	2.0	-6.2	-17.3	-8.2

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-5.8	-19.1
建設業	0.0	-17.6
製造業	-25.0	-18.7
卸売業	0.0	-42.8
小売業	12.5	-13.4
サービス業	-12.5	-12.5
その他	-12.5	-12.5
非製造業	0.0	-19.2

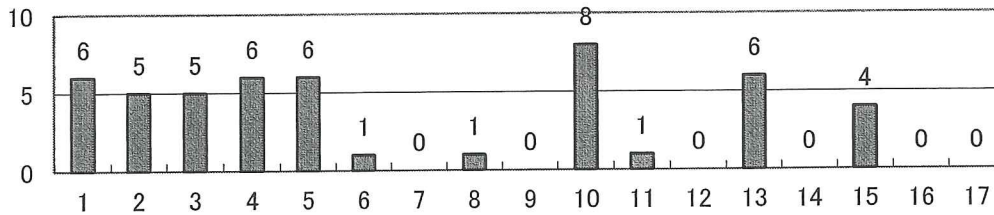
質問2 今期直面している経営上の問題点

- | | |
|-----------------|----------|
| 1 競争激化 | 10 経費の増加 |
| 2 消費・需要の停滞 | 11 人手不足 |
| 3 売上・受注減少 | 12 人手過剰 |
| 4 売上・受注単価低下 | 13 利益率低下 |
| 5 原材料・仕入価格上昇 | 14 代金回収難 |
| 6 原材料・在庫不足 | 15 資金繰り難 |
| 7 原材料・在庫過剰 | 16 新分野進出 |
| 8 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他 |
| 9 店舗・生産設備過剰 | |

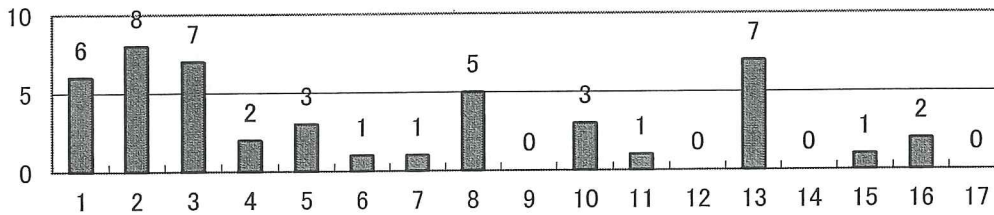
全業種(複数回答)



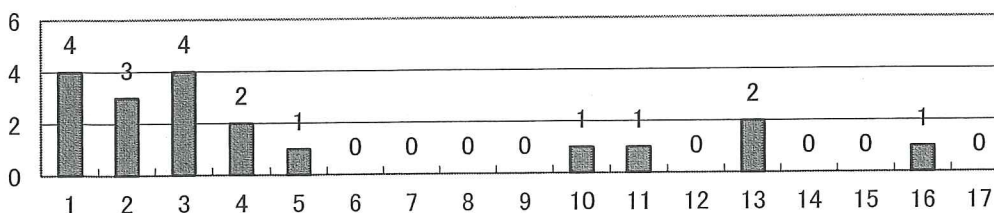
建設業(複数回答)



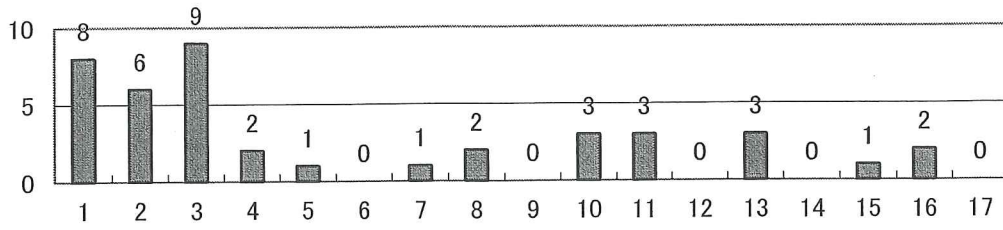
製造業(複数回答)



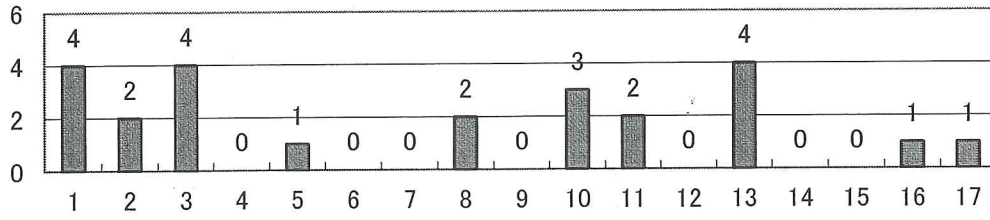
卸売業(複数回答)



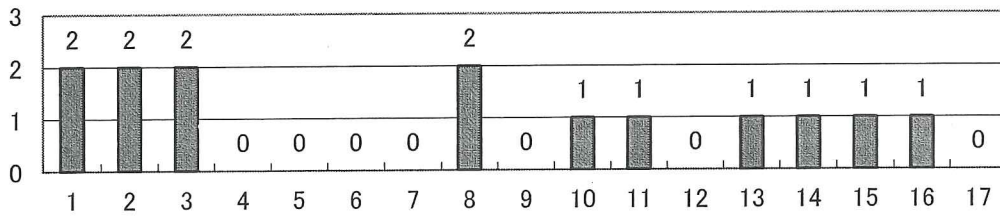
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



その他(複数回答)



倉吉商工会議所企業景況調査票(平成28年1~3月期)

調査元：倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】前年同期と比較した今期(平成28年1~3月)の状況と、今期と比較した来期(平成28年4~6月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

Table with 7 rows and 4 columns. Rows include: 1) 売上高, 2) 売上単価, 3) 収益状況, 4) 資金繰り, 5) 借入難度, 6) 雇用人員, 7) 貴社の業況. Columns include: Comparison type (前年同期比/来期の見通し), and three options (e.g., 1. 増加, 2. 不変, 3. 減少).

【質問2】今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- 01 競争激化, 02 消費・需要の停滞, 03 売上・受注減少, 04 売上・受注単価低下, 05 原材料・仕入価格上昇, 06 原材料・在庫不足, 07 原材料・在庫過剰, 08 店舗・生産設備不足・老朽化, 09 店舗・生産設備過剰, 10 経費の増加, 11 人手不足, 12 人手過剰, 13 利益率低下, 14 代金回収難, 15 資金繰り難, 16 新分野進出, 17 その他:具体的に

回答欄

1位 _____

2位 _____

3位 _____

【質問3】1. 貴社の平成28年4月における従業員の採用について(括弧に○を付してください。)

- ① () 計画した人数どおりに採用できた(計画以上の採用も含む) → 2. 3へお進みください。
② () 採用できたが、計画した人数には満たなかった(採用活動継続中も含む) → 2~4へお進みください。
③ () 募集をしたが、採用できなかった(採用活動継続中も含む) → 4へお進みください。
④ () 今年度は採用を実施しなかった → 【質問4】へお進みください。
2. 従業員採用状況について(該当する欄に記入してください。)

Table with 6 columns: ①大学卒以上, ②短大・専門学校卒, ③高校卒, ④中途採用, ⑤その他. Row: 平成28年4月の採用実績 (①~③は新卒). Columns contain '男 人・女 人'.

3. 採用の人材は? ① () 技術系 / ② () 営業系 / ③ () 事務系 / ④ () その他

4. 不足している人材補充は? ① () 中途であっても補充採用したい / ② () 新卒者採用まで待つ

③ () パート・アルバイトで補充する / ④ () 派遣社員で補充する / ⑤ () 当面現状維持

⑥ () その他(具体的に:)

【質問4】現在の景況感、企業経営上の問題点、等についてご記入ください。

Large empty rounded rectangular box for handwritten input.